

# 第 29 回全日本ベンチプレス選手権大会報告

2018年1月27-28日

和歌山県立体育館

報告・写真：IPF国際審判 物江 毅

本年の全日本BP大会は、1月27、28の両日、和歌山市・和歌山県立体育館で開催された。地元和歌山協会及び近畿ブロックの役員&補助員の方々、全国から参集した審判員の思いが結実し、とても盛会となった。

大会初日朝、寒波の影響で未明に雪がちらつき道路は凍結していたが、広い会場内は、徐々に選手の熱気で満たされて試合中は寒くは感じなかった。

今大会には、来年日本開催の世界BP大会の下見という事で、ガストンIPF会長、ヨハンスミスIPF技術委員長、ソルタニAPF会長が来場及び臨席。試合観戦だけでなく審判員にも入るという例年の当該大会とは違った緊張感の中、試合は進行した。

## 初日

### 女子の部

#### 43kg・52kg級

43kg級はSJRの浜田華澄さん一人のエントリー。第一試技55kgを軽く決め第二、三試技で日本記録の70.5kgに挑んだが、惜しくも失敗であった。



世界ベンチ視察。左から二人目アジア会長ソルタニ、IPF会長ガストン、IPF技術委員長ハニー



52kg級一般は、昨年の浜松大会同様、白川カオリさん、伊賀梓さん、南采沙さんの優勝争いとなり、優勝白川さん 115kg、2位伊賀さん 110kg、3位南さん 107.5kgという昨年同様の順位となった。脳出血という大病後に全日本大会で二連勝した白川さんの頑張りには本当に頭が下がる。伊賀さんは今回調整が今一つと Facebook に書いておられたが、110kgは余裕の試技と見受けられた。南さんも伊賀さん同様三試技とも成功し、着実に力が伸びてきている。次回のお三方

の戦いが今から楽しみになった。

JRでは明日の日本女子PL界を担う逸材・澤山あおいさんお一人の出場。三試技とも成功 92.5kgで優勝。

M1 は伊藤由実子さんが怪我を押して出場し 65kgで優勝。M2 は優勝寺村美香さん 90kg、2位原田恵さん 75kg、3位同記録体重差で柴田昌美さん、国際大会定連の三名がきっちり結果を残した。M3 は大澤幸子さんが 65kgで優勝。M4 では大ベテラン・古川芳子さんが故障にめげず三試技とも成功し 37.5kgで優勝という結果となった。

### 47kg・57kg級

47kg級一般は日本PL界の至宝・福島友佳子さんが、段違いの安定性を見せつけた。三試技目には 136kgの日本新記録に成功。しっかりバーベルを受け、胸から押し上げ両肘を完璧にロックする試技技術は審判として白以外の判定を出せない素晴らしさであった。勿論、女子ベストリフターを獲得。2位宮本智子さん 97.5kg (M2 優勝)、3位は新井拓子さん 85kg (M2 2位) とこちらも国際大会定連組が名を連ねた。M3 はフルマラソンと二足の草鞋



を履く滝沢嘉恵さんが 70kgで優勝。M4 は今大会最年長・奥村正子さんが脳梗塞を克服して復活優勝、世界大会出場に意欲を燃やしておられた。何という前向きさであろうか！

57kg級一般では 4年ぶりに全日本BP大会復帰した南(旧姓長浜)恵美さんがご主人茂樹さんの声援を受け 117.5kgで見事に優勝。第三試技では日本記録 127.5kgに挑む元気さであった。2位は M2 の絶対王者・酒巻知子さんが 105kg、3位はこれも M2 とダブルエントリーした長谷川真紀さんが 92.5kgという結果であっ

金メダルゲット！左から福島選手、澤山選手、白川選手



## 57kg級を制した、うれしい南選手とご主人



M3で優勝した長尾優子さんは第三試技で83kgの数年間追いつけた日本記録に見事成功、表彰式で会心の微笑みを見せてくれた。M4優勝の中沢久美子さんも第二、三試技で63kg、65kgの日本記録を連発、健在ぶりを見せつけた。お二人とも世界大会でも頑張っていたいただきたい。

## 63kg・72kg・84kg・+84kg級

63kg級一般では、私が秘かに150kgオーバーの記録を期待していた石橋茜さんが130kgで優勝、2位奥谷由香さん125kg、3位山下彩さん122.5kgという結果となった。第三試技で石橋さんは140kgに挑んだが惜しくも失敗、しかしながらストロングラインとK's GYM横浜の二か所でトレしている石橋さんには無限の可能性が感じられた。奥谷さん、山下さんも第三試技では逆転優勝を狙い、果敢に132.5kgに挑み、こちらもとても見応えがあった。

M1では初出場・篠原千絵さんが三試技とも成功80kgで優勝。M2ではリトアニアのリベンジを南アフリカで果たそうとトレに励む工藤智恵子さんが95kgで優勝、2位は柳沢由紀子さん70kgという結果であった。工藤さんは従来63kg級に戻したが、体重が減りすぎ大会寸前の調整が不調であったとの事であったが、キッチリと結果を残した。世界BP南アフリカ大会での表彰台中央の晴れ姿を期待したい！

72kg級一般は大会定連の照屋利恵さんが三試技成功で優勝(M1も優勝)記録は127.5kg。2位はこれもM1とダブルエントリーの櫻井美幸さんが117.5kg(M1 2位)、3位はJRとダブルエントリーの池田光咲さんが100kg(JR優勝)という結果となった。M2では鍋倉由美子さんが60kgで優勝した。

84kg級はとても豪華なエントリーで、現在日本最強女子ベンチプレスともいえる溝口久美さん、ノーギアの女王・徳武恵美さん、世界MBP大会全勝の不敗女王・澤千代美さんが熱戦を繰り広げた。溝口さんは第一試技で140kgに成功し、ほぼ優勝確定した後、第二試技150kg、第三試技178kgに挑んだが惜しくも失敗。徳武さんは第一、三試技でプレス時に右をラックに当てながらも力で押し切り、127.5kgのM2日本記録で2位(M2優勝)、澤さんは107.5kgと軽くなり、第二試技115kg成功後、第三試技は125kgのM3日本記録を完璧に成功、3位(M3優勝)となった。

+84kg一般ではM1とのダブルエントリー・世界MBP大会定連の小松麻実さんが115kgで優勝、2位は東前めぐみさんが95kgという結果であった。

た。酒巻さんも第三試技では体重差逆転を狙い117.5kgに挑む元気さであった。

JRの部も見応えがあった。共に国際大会定連の小林展代さんと櫻由貴さんとの対決となり、95-97.5に成功し一歩リードした小林さんに対して、櫻さんは85-x95の第三試技体重差逆転を狙い97.5kgに挑み見事成功。これを受けて小林さんが100gを上げ返して、優勝小林さん、2位櫻さんという結果となった。櫻さんは好感の持てる開会式選手宣誓も行ってくれた。

M1は森塚久美さんが90kgで優勝。



## 男子の部

今回、私は初日第1セッションA・Bグループの陪審員を勤めさせていただいたため、女子選手の試技大半は拝見できたが、第四セッションで選手として出場したため、男子軽量級の部は完全には観戦できておらず、報告に濃淡がある事をご容赦いただきたい。

### 59kg級

今回も昨年同様野田俊彦選手と木村育史選手の優勝争いとなった。判定も木村さんに一旦成功の判定後陪審員の判定覆しがあり、優勝は212.5kgで野田さんという昨年と似た結果となった。試合後野田さんと話をして「ともかく今は勝ち癖をつける事が大事。世界大会も頑張ってもらいたい」と祝福させていただいた。木村さんがFacebookタイムラインに掲載した試技ビデオを拝見したが、プレス途中でバーが一瞬下がったと思われ、傾きには日本の審判よりも寛容なIPF首脳の陪審員陣からの判定覆しは、このビデオを見る限り妥当と思われた。2位は村田元輝選手190kg、3位には全日本BP大会初表彰台の山根修平選手180kg、4位同記録体重差で中田和夫選手(M2優勝)という結果となった。

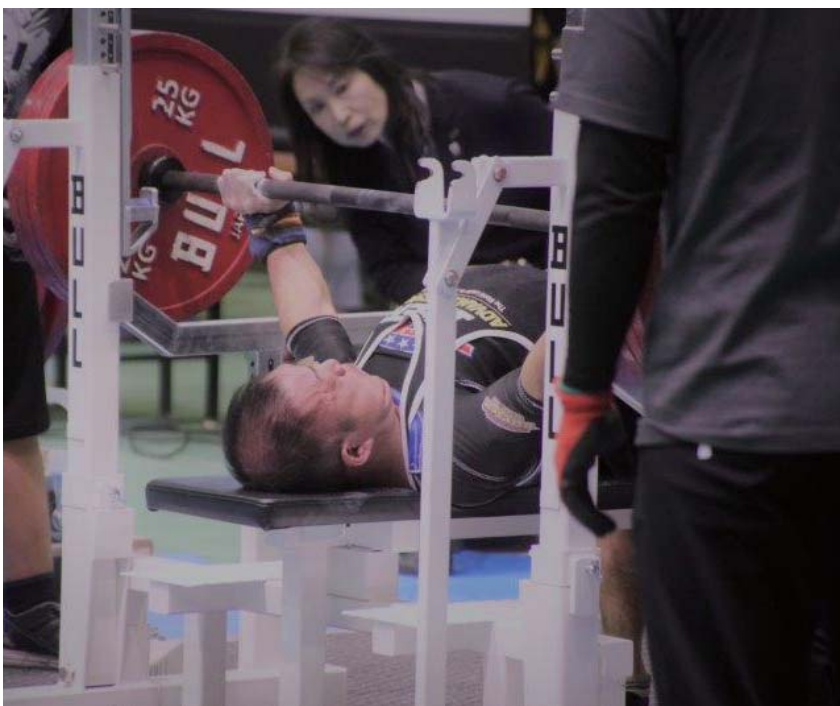
JRの2位は田村陽選手170kg、M1の2位は吉本大秀選手150kg、3位吉野公二選手145kg、M2の2位田中裕一郎選手142.5kg、3位同記録体重差で椎木智良選手という結果であった。M3では大ベテラン・伊差川浩之選手が150-155-157.5kgと三試技成功で、M4は浜山久雄選手が125kgで夫々圧勝した。

### 66kg級

一般の部は福田将志選手が237.5kgで二連勝、第三試技で挑んだ248.5kgには失敗。2位は水野瑛選手232.5kg、3位亀谷充男選手210kg(M1優勝)という結果であったが、水野さん、亀谷さんとも第三試技で体重差逆転を狙い237.5kgに挑むという見せ場を作ってくれた。4位には大ベテラン・中山久幸選手が205kgで入るといった結果となった。JRの優勝は土田正臣選手180kg、2位鈴木武虎選手165kg、3位田本廉選手160kg。M1の2位には天川哲範選手190kg、3位同記録体重差で芦崎高志選手。M2は常勝の矢野秀幸選手が175kgで優勝と健在ぶりをアピール、2位同記録体重差で久野毅選手、3位岩本誠一郎選手162.5kg。M3では第一試技をノーギアで手堅く成功した佐藤恵二選手が三試技とも成功し150kgで優勝、M4の優勝は段安忠信選手で130kgであった。

### 74kg級

このクラスはIPF殿堂入り・世界BP界の絶対王者・児玉大紀選手がどんな勝ち方をするかという事が毎回の注目事であるが、今回控えめな重量で245-255-265と三試技とも成功、順当な優勝であった。主審のガストンIPF会長が腰の付きが不十分という理由で第一、二試技に赤を点けていた。今回児玉さんはガストン会長とのガチンコ勝負となった。



59kg級のバトルを制したのは野田選手(写真左)、木村選手、惜しくも失格(写真右)



二日目のレフリーミーティングでも、主審の座る位置を工夫して、腰の付きについても主審も判定すべきであるという指導をガストン氏が行っていた。この指導後、83kg級～105kg級は腰の付きに対する判定が初日より厳しくなった。私は本年も国際大会で主審を勤める機会があると思うが、しっかりと腰の付きを判定できる位置取りをしようと気を引き締めた。

このクラスの2位に入った菊地洋介選手(記録235kg JR優勝)は、昨年のリトアニア世界BP大会でJRチャンプに輝き(この世界大会試技の際私は主審を勤めさせていただいた)、関東BP大会でも進化した試技を披露していた。今回も第三試技で暫定1位を狙い257.5kgに挑むという健闘であった。偉大なる児玉選手に挑戦する待望の若手登場というところか！ 3位は奥谷元哉選手220kg、4位はPLの強豪・濱田展行選手210kg(M1優勝)、M1の2位は世界MBP大会定連の松岡紀佳選手187.5kg、3位千田和義選手185kg。M2の優勝はベテラン・三島忠選手210kg、2位桑原勉選手165kg、M3は出場2選手がいずれも三試技とも失敗で表彰者なし。M4は山本茂樹選手が160kgで、2位に60kgの差をつけ圧勝した。2位は照井選手100kg、3位には今大会男子最年長・藤田俊夫さんが90kgで入った。

## 二日目

### 83kg級

一般では、リトアニア世界BP大会の再現となる大室豪槻選手と福島勇輝選手のガチンコ対決となった。大室選手は第一試技290kgに成功、福島選手は295kgから試技を開始、第一試技は同重量を押し切れなかったが、第二試技でややスムーズさは欠いたが同重量を最後まで押し切った。判定は両副審が腰の付き不十分という理由で赤、



貫禄優勝、児玉選手

失敗となった。第三試技、私は見ておらず結果が失敗で福島選手が失格と試合後聞かされた。大室選手は第二試技295kgに失敗後、優勝を決めた第三試技で312.5kgの自己記録に挑んだが失敗であった。このクラス2位は本年から一般となった村野知永選手が250kg、3位はM1とダブルエントリーした鈴木重成選手が230kgで入った(M1優勝)。

JRの優勝は石崎竜海選手200kg、M1の2位は高橋秀輔選手175kg、3位172.5kgで酒井豊選手という結果となった。M2では藤原英司選手が210kg、2位松岡俊男選手207.5kg、3位上月敦雄選手190kg。特筆すべきはM3で優勝した田中薫選手で第一試技190kgに成功後、205-211kgと日本記録を連発しBP帝王・大谷進さんの記録を見事に更新した。M4の優勝は今泉春樹選手、怪我のためノーギアで試技し100kgという記録であった。

### 93kg級

私はこのクラスの試技の際、次のセッションの検量官であったため、試技を見ておらず、結果のみ記載させていただく。

一般は優勝が長谷川直輝選手で311kgの日本記録に成功、ベストリフター&文部科学大臣杯を獲得。2位吉川望選手280kg、



3位宮本崇行選手 245kg (M1 優勝)。SJR 優勝梅澤丈二選手 140kg、M1 の2位松井竜一選手 230kg、M2 優勝 200kg 鈴木繁章選手。

M3 では本年から M3 となった北川武志選手が 205kg で優勝、2位飯島修選手 200kg、3位安楽友宏選手 190kg という結果であった。

### 105kg級

このセッションは大接戦となり、とても見応えがあった。

葛西昌彦選手・山下保樹選手という K's GYM の先輩後輩、同門 K's GYM 横浜の佐藤優輝選手の戦いは、第一試技山下選手が 285kg に成功、葛西選手は 300kg に失敗、佐藤選手は 310kg に成功し先行、第二試技では山下君が 300kg、葛西さんが 312.5kg に夫々成功、佐藤さんは 316.5kg に失敗。この時点で暫定トップは葛西さん。第三試技で山下君は体重差逆転の 312.5kg に見事成功し、暫定トップに立つ。佐藤さんは 316.5kg に失敗 3位が確定。大トリで登場した葛西さんは 317kg に挑み残念ながら失敗 (M1 優勝)、山下君 5年ぶりの全日本制覇という結果となった。彩さんという才色兼備の素敵な伴侶は勝利の女神だったのであろうか (^\_^) ☆

4位は橋本到選手 282.5kg、5位堀口耀介選手は 300kg に失敗し 280kg、6位は T X P オーナー、現在日本 P L 界最強の阿久津貴史選手で自己新の 277.5kg という結果であった。

JR の優勝は 250kg で伊藤志志選手 250kg、M2 優勝は 170kg で寺田万寿夫選手、M4 は 148kg の日本記録で長島義孝選手という結果となった。

### 120kg級・+120kg級

このセッションで私は主審を勤めさせていただいた。

### 120kg級

世界 BP 大会で優勝経験がある大本命・上田真司選手が欠場したため、優勝候補は梶井俊宏選手、対抗がカレンダーイヤー 54歳の和田高平選手、ノーギア最強の武田裕介選手、減量して一階級下に出場の斎藤大生選手であろうと予測していたが、試合が始まると梶井さんの試技が不安定で、残念ながら三試技とも失敗の記録なしで終了、一方の和田さんは 305 - 312.5 (M2 日本新) に成功で優勝、2位は第二試技 280kg のみ成功の武田さん、3位は大会定連の原新一選手 275kg という結果 (M1 優勝) となった。4位はとてもユニークな試技の入り方で場内から声援を浴びていた加瀬智選手 270kg、5位川野智成選手 250kg、6位同重量体重差で斎藤大生選手という結果であった。

JR の優勝は柏木悠太郎選手で、嬉しい 245.5kg の JR 日本新記録に成功。M1 の2位は定連の山森智行選手 250kg、3位は中村敏雄選手 242.5kg、4位岡山三紀選手 237.5kg という結果となった。

### +120kg級

一般の部で昨年同大会優勝の柳川大貴選手と同門の SJR 平成の怪物・藤本竜希選手の 350kg 前後の優勝争いと思われたが、藤本君は第一試技ノーギアで 180kg に成功、SJR 優勝を決めた後で、第二試技 270kg に成功。一方の柳川さんは第一、二試技で 340kg を押し切れず、後がなくな





## 54歳和田選手優勝！120kg級の表彰



る。柳川さんは第三試技で10kgプラスの350kgに挑むが失敗、記録なしとなってしまった。2位となった樋口重敏選手が第三試技で272.5kgに失敗し、優勝が確定した藤本君は第三試技352.5kgに挑み大トリで登場、残念ながら失敗であったが18歳で全日本BP大会優勝という今後ほぼ破られないであろう金字塔を打ち立てた。

M3ではカレンダーイヤー60歳となった古城資久選手が245.5kgのM3日本新記録に成功し、優勝に花を添えた。

翌日帰路の関空で偶然藤本君と会い「世界大会、行くよね?」と聞いたところ「大学に受かっていたら・・・」と言ってくれた。秀才の藤本君、大丈夫であろう(^\_-)☆

### 団体戦結果は、

女子一般の部	優勝	パワーハウス	2位	K's GYM			
女子マスターズ	優勝	ストロングライン	2位	K's GYM	横浜	3位	パワーハウス
男子一般の部	優勝	K's GYM	2位	K's GYM	横浜	3位	パワーハウス
男子マスターズ	優勝	K's GYM	2位	K's GYM	横浜	3位	パワーハウス

男子はK's本店&支店の独占、女子は名門パワーハウスが復活、ストロングラインも大健闘といったところであろうか！

大会終了後FacebookにソルタニAPF会長の主審判定について、クレームをつけている書込みが見受けられた。上記のレポートでも触れたように、ガストンIPF会長やスミス技術委員長の意向で、従来よりも腰の付きについて厳しい判定が下されるようになった結果であり、今後国際大会でも同様な判定基準になると思われる。このような事情を掌握せずに、ルールに関してSNSで軽々しく批判すべきではないと感じた。

最初に書いたように、今回の全日本BP大会、主管協会の和歌山県及び近畿ブロックの役員の方たちが、大会前日の金曜日の夕方、寒い会場で黙々と会場設営にあたっておられ、頭が下がる思いであった。お陰様で国内最高峰のBP大会が盛会となった。

来年日本で開催される世界BP大会に向け、これからも選手&役員一同で邁進していきたいと強く思った大会であった。



全日本大会の写真と報告をしてくださった物江氏(写真右下)とTXPの皆さん